

授業に関するアンケート（2017年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね4ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
音楽学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
一部の科目（和声法、アナリーゼ、音楽心理学など）にのみ否定的回答が見られた。これらについては、問題を追及し、解決を図りたい。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
一部の科目（ソルフェージュ、和声法、基礎演習など）に否定的回答があったが、限られた時間内で一定の内容を扱う授業においては、致し方ない面もあると思う。しかし、何らかの改善策を摸索したい。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
ソルフェージュや和声法については能力別クラスを設けてすでに対応している。学生たちが自分の能力をよりよく見極められるよう、きめ細やかに指導していきたい。
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
科目内容の性質上、双方向性がとりにくい授業もあると思われる。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
4と同様に、科目内容の性質上、フィードバックをしにくいものあるだろうし、音楽学科の科目では「提出物」ではなく、「発表（表現）」が重要になるものもある。
6. 言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
一部の科目（ソルフェージュ、和声法、アナリーゼなど）に否定的回答が多く、まだまだ改善の努力が必要である。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
一部の科目（アナリーゼ、音楽心理学、基礎演習など）に否定的回答があり、まだ改善の余地がある。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
それぞれの科目で、学生たちが問題を感じていることはさまざまである。個別にそれぞれの教員が真摯に対応していくことが望まれる。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に1週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
実技系（サウンドデザイン含む）の科目で多くなる傾向は当然のことだが、それ以外の講義系科目でも学習時間を増やす努力をしたい。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
これは授業の性質によって回答はまちまちであり、それはごく自然である。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
かなり多くの科目が肯定的回答を得ているのは喜ばしい。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
かなり多くの科目が内容によって選択されていることは喜ばしい。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていきましたか。
一部の科目（ソルフェージュ、和声法など）に否定的回答があり、改善の余地があると考える。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
この設問は、学生たちが謙遜して答える場合もあるだろうし、より高い理想を念頭に置く場合もあり、いちがいにコメントできない。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。
「リーダーシップ」については、アクティブラーニングの導入などによって少しずつ改善されている。

(4) その他

特になし

教育開発支援センター